

問 自分ごとと化会議の狙いは

答 住民の関心を高めること

問 村は、東海第二発電所問題に関して「住民の意向把握」を課題の一つとしており「自分ごとと化会議」を実施するとしているが、会議の目的・狙いと住民意向把握へのプロセスを伺う。

答 東海第二発電所を取り巻く問題は、まずは自分たちにできることを考え「自分たちはどうありたいのか、どうしたいのか」の議論を進める。参加者が主体性を持ちながら、徐々に方向性を定めるような運営スタイルを取ることによ



新政とうかい
てらかど さだのり
寺門 定範 議員



9月15日に開催された講演会
「原発問題を自分のこととして考えるとは？」

り「誰かが考える問題」ではなく「自分の問題」として関心を高める動きが広がっていくことにある。会議のプロセス・結論等に関して、あらかじめ予定するシナリオのようなものはない。現時点では「原発問題」に関して冷静に話し合える場ができてつつあること。その後は成り行きを見ながら参考にしていくところまでできたことは、大きな前進の段階にあると考える。「住民の意向把握」に関して次の展開まで見通したものはない。

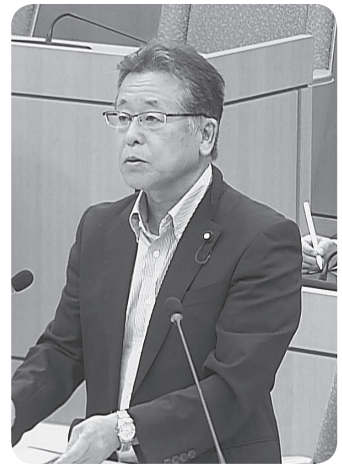
問 飲食や買い物 キャンペーン実施を

答 効果のある支援策を検討する

問 本村で新型コロナウイルス陽性患者が確認されてから、若干持ち直した人波は夜の街からぱったりと消えた。村内飲食業者は、廃業と背中合わせの切羽詰まった状況にある。村内飲食業者への支援策として、日立市が行う「ひたちのまちで買い物」キャンペーンを実施してはどうか。

答 現在、村独自支援策の速やかな執行に、誠心誠意取り組んでいる。日立市のキャンペーンは、今後の参考としたい。

問 本村の新型コロナウイルス対策は、他自



新政とうかい
ささじま しろう
笹嶋 士郎 議員

治体がない支援策に次々と取り組んでおり、その努力は認める。しかし飲食業の実態は、本当にひどい状況にある。このキャンペーンを実施するための対応が追いつかないのであれば、職員・会計年度任用職員の増員が有効な手立てと考えるのがいいか。

答 今年度、商工担当を増員した経緯もあり、今後の職員体制は、適宜状況を見て対応していきたい。また、新たな支援策は何が有効かを見極めながら検討していく。



空気清浄機やアクリル板を設置し、
コロナ対策した居酒屋の座敷